

## 令和3年度「教育課程等に関する企業様とのWeb意見交換会」報告書

開催日時：令和3年8月24日（火） Web意見交換会（13:00～14:20）

テーマ：「産業界が短大へ求める資質や知識並びに本学の教育等への取組みについて」の意見交換

会場：Web会議 本学参加者 B棟5階MM教室

出席企業：7社8名

本学出席：教職員8名

### 1. 実施の目的

本学は「For all the students ～すべての学生生徒のために」を経営理念とし、「丁寧な教育」を戦略の一つとして掲げ、教職員協働体制で学生指導にあたることを、中期経営計画で定めている。

18歳人口の減少により全国の大学・短大は学生確保に苦慮しているのが状況である。特に短大は73.9%の学校が定員未充足の状況であり、毎年数校が閉鎖及び縮小している状況である。幸い本学は、ここ数年、志願者および入学者を確保できているが、この状況を安定的に継続することは容易ではないと認識している。

そのため、本学は「情報の短大」として、日進月歩する情報技術に対応し、ITを利活用できる優秀な社会人を輩出できるよう、令和2年度からPBL（問題発見・解決型学習）を組み入れた大規模な組織並びに教育課程の改編を実施した。今回は、本学の教育の質をより一層向上させるために、企業様から学生に求める資質や知識、並びに本学の教育内容等について率直なご意見をいただき、企業の方々の客観的な視点を取り入れた点検・評価を行い、社会的要請に対応できる教育課程へと改善していく狙いである。

### 2. Web意見交換会

進行及び趣旨説明（平岡）

- (1)学長挨拶
- (2)新学科説明（藤井）
- (3)就職の取組み（吉原）
- (4)企業様との意見交換
- (5)総評（学長）

[ (4)企業様との意見交換内容  
①教育課程に関する内容に対する企業様からの意見・・・藤井担当  
②就職支援に関する企業様からの要望 .....吉原担当  
③その他 ]

#### ①教育課程に関する企業様からの意見

##### 《企業1》

貴校の学生はビジネスマナー、言葉遣いや礼儀がしっかりしている。知識等は入社してからで大丈夫なので、コミュニケーション能力やグループワークでの発表などを講義で実施していただければ、将来的にリーダーとして活躍できると思う。

## 《企業2》

カリキュラムにおける技術やスキルは入社してから大丈夫なので、在学中に人間性や社会性に注力していただきたい。採用活動において貴校の学生とのメールのやり取りにおいて文章能力に優れているのでしっかりと教育されていると感じる。普通は入社してからOJT等でそういう部分は身につけていくものですが貴校ではしっかりと指導いただいているので心配ない。今後もビジネスマナー等に注力いただきたい。

## 《企業3》

貴校の学生が多く入社していて活躍している。人間性や社会性を充分に教育されていると感じる。弊社からの要望としては、これから変化していく社会において変化対応力を身につけて柔軟に対応できるような人材の育成をしていただきたい。

## 《企業4》

カリキュラムにおいて課題解決（PBL）の授業においていろんなパターンを経験して入社していただくと有難い。習うだけで実践できないと残念なのでしっかりと活かせるような教育にしていただきたい。

## 《企業5》

弊社は、食品メーカーなので貴校が教育で力を入れている情報処理関連の職種採用が少ないため直接習った知識を活かせる場面も少ない。弊社は、すべてにおいて自前主義なので物を作る仕事、物流やSEも自社でやっているので貴校でやっている課題解決の授業は魅力を感じる。自社のどの業務においても活かせるのではないかと期待している。

## 《企業6》

貴校の学生は幅広く学んでいるので就活でのオンライン研修において、他学の内定学生より積極性があり、明るく、エクセルやパワーポイント、メール、電話応対等においても幅広く学んでいるので対応できている。明るくリーダーシップをとれる学生が多い。弊社はIT企業や半導体関連の業界と幅広く取引しているので貴校の学生はどの分野の職種でも活躍できると思うので今後も採用していきたい。

## 《企業7》

弊社の福岡事業所業務は主に地図作成なので学習したものが直接活かせるのは難しい。弊社の採用ポイントはコミュニケーション能力を重視していて、入社後の成長につながると考えているので、コミュニケーション能力を身につけられるように授業等でディスカッションなどの場面をつくっていただきたい。

## ②就職支援に関する企業様からの要望等の意見

(就職支援に関する意見及び編入希望者が2年生後半から就職へ変更する場合の採用はどうか。)

## 《企業1》

弊社は電気関連の建設業務ですが、採用に関しては資格や学科問わず挑戦する意欲を持った学生であ

ればご相談いただきたい。但し、地域限定でなく全国どこでも構わないという事であれば採用したい。

## 《企業2》

弊社の求める人材はやる気、元気、すなおさがポイントで、併せてチャレンジできる人材であれば学科が違っても志があれば採用したい。また、自分自身の目標に対しての取組みやチャレンジ精神を持っている学生であれば採用も前向きに考えていきたい。

## 《企業3》

弊社はオフィスワークといって行政や各市町村の窓口対応業務であるため、入社して様々なキャリアを積んでいくのが弊社の特徴であるため、短大で学んだことが直ぐに活かせるとは限らない。但し、前向きにチャレンジできる学生であれば採用に繋げていきたい。

## 《企業4》

弊社は明るく元気な学生を採用したい。学歴ではなく人間性を重視。貴学は専門知識を学んでいるので即戦力として期待している。

## 《企業5》

短大生は短期間で一般常識と専門性を学び卒業するので、その中の意識の高い学生に期待しているが、弊社のような食品メーカーを希望するかわからないが、希望者がいれば選考していただきたい。

## 《企業6》

弊社は様々なプロジェクトがあり、ITやソフトウェア開発、ネットワーク構築であったり、お客様との折衝がある。後にプロフェッショナルなるためにステップアップとして出来るところからやっていただく。何にでも挑戦する意識を身につけている学生であれば前向きに考えていきたい。

## 《企業7》

弊社の福岡事業所採用であれば早期に終わるが、全国のエンジニア希望であれば電気工事士の資格を持っているのであれば通年採用している。

## ③その他

## 《企業5》

弊社の工場ではエンジニア担当として毎年機電系の学生を採用しているが、貴学には希望される学生はいるか。

(鶴留回答)

本学の学生で機電系を希望する学生は少ないが工業高校からの入学者の中に一定数はいる。

## 《坂田課長》

学科改組によりカリキュラムにおいて「情報の短大」をより一層鮮明にしたことの自負があり、短大生は色々な職種の企業に入社しているが、AIやIT部門で情報系短大として2年間しっかりと学んで入社していくことが重要と考える。本学短大生は2年間でカリキュラムを完結するので、入社後に学生がどこ

まで情報リテラシーが身についているかが見えてこないので今後の期待も含めてご意見を伺いたい。

(企業4)

弊社は入社して3ヶ月は社員教育と半年間のOJTを行うので、在学中にしっかりと身につけていただければ半年間のOJT終了後には即戦力として配属できる。

(企業5)

貴学の情報系の学習内容が分からぬのですが、入社し業務を行う上で短大においてどの科目がどう仕事に活かされるかなどの実例を示していくと良いのではないか。入社してどういう職種に付きたいとかなど具体例を上げて学業と結び付けていければ具体的な就活が出来るのではないか。

(企業3)

ITに関する資格取得についてですが、特定の授業を受ければ何らかの資格が取得できるとかあれば強い武器になるのではないか。私達も学生と面談するときにITパスポートや基本情報技術者の資格を取得していれば基礎知識を備えているという事が分かる。またそれなりに努力して来た学生であり、目に見える形にするのも大事ではないか。

## 《企業7》

私はOBですが在学中にプログラミング言語には関心があったのですが自分自身で積極的にプログラミングを組んでいなくて今になってもっと学生時代に組んでおけば良かったなと思うのですが、学生は1コマにおいてどれぐらいの行数を書いていますか。

(藤井教務部長回答)

1年生前期の基礎科目では30行ぐらいで後期になると100~200行ぐらいで、2年生ではPBL科目や卒研では1つのアプリケーションは作成している。

## 総評(学長)

本学において重要なことは、学生の進路においてミスマッチを防ぐことだと考えているため、離職率をできる限り低くすることが重要なことである。デプロマポリシーで示しているように人間性と社会性をどうやって両立させるかが重要な問題である。短大は2年間という限定されているので人間性、社会性においては教職員との密接した距離感を大事にしたい。本学ではまずきちんと挨拶をするという事を第一と考え、人との繋がりとなるコミュニケーションにおいて、ネットワークをどう構築するか、学生同士のネットワークと共に教職員が積極的に声をかけることが重要である。また、本学は某新聞社と提携を結んでおり、新聞記事においての感想文を学生が提出していて、本学の短大生は優秀な賞を取っており人間性や社会性に繋げている。

情報メディア学科としてデータサイエンスにおいてモノづくりからコトづくりに進んでいてプログラミングロジックコントローラを含め、読み書きソロバンを基本とした上でのグレードアップを図っていく必要がある。学生においては今、学んでいることが社会にどう役立つかという事が重要なことで、先生が授業の合間に現代の社会情勢について質問を投げかけディスカッションを行い発想の転換に繋げていき、社会に対して関心を持たせることに努めていきたい。

編入においては、高校生への入試説明会で必ず共通テストの3教科を受験するよう伝えているので編入を目指している学生は一定レベルの学力がある。途中で編入から就職希望に変わった学生は貴重な戦力であると思うので選考時には配慮いただきたい。

本日、示しいただいた貴重な意見は教職員共々今後に反映させていくよう努力する。

以上